



日本共産党 北茨城市委員会 磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団 ニュース

ご相談は お気軽に

市議会議員 福田 明 43-0468

市議会議員 鈴木やす子 42-2462

# 今秋開催 国民文化祭いばらき2008

「国民文化祭08」の準備がすすんでいます。これは、全国の文化・芸術活動の愛好者や団体が一堂に会して、音楽や演劇、伝統文化の競演を繰り広げたり、一般公募する文芸や美術作品の展示、さらに開催地独自の文化・芸術イベントなどをおこなう文化・芸術の祭典です。

毎年、各県持ち回りで開催されてきて、いよいよ今年は茨城県が会場となります。県内全域でさまざまなフェスティバルが開催され、県外からも多数の出演者や観客の方々が訪れます。茨城県の文化・芸術活動や文化資産に触れてもらうことにより、茨城県のイメージアップにもつながることが期待されています。

- ・ 童謡アート
- ・ 物産展
- ・ 音楽発表会
- ・ 創作ミュージカル
- ・ 市立図書館
- ・ お話し会
- ・ リサイクル本市
- ・ 絵本原画展
- ・ 童謡アレンジコンテスト
- ・ 雨情生家
- ・ コンサート「瞑想の夕べ」ふれあい公園（磯原駅東）
- ・ フリーマーケット
- ・ 雨情記念館
- ・ 「青い目の人形」展



## 防災訓練

8月30日、関南町神岡の市営住宅地内

「国民文化祭いばらき2008」の総合プロデューサーを務めるのは、毎週、NHKテレビのN響アワーなどでもお馴染みの作曲家・池辺晋一郎氏です。同氏が『うたごえ新聞』という週刊紙に連載しているコラムがあり、野口雨情との関わりで次のエッセイを書かれています(9/1付)。

## 総合プロデューサーは池辺晋一郎氏

国民文化祭 いばらき2008

「国民文化祭いばらき08」の総合プロデューサーを務めるのは、毎週、NHKテレビのN響アワーなどでもお馴染みの作曲家・池辺晋一郎氏です。

同氏が『うたごえ新聞』という週刊紙に連載しているコラムがあり、野口雨情との関わりで次のエッセイを書かれています(9/1付)。同紙と執筆者ご本人の了解のもとに転載させていただ

## 一般質問

第3回定例市議会が9月3日に開会しました。一般質問は、9月9日(火曜)におこなわれます。通告は8名で、鈴木やす子、福田明両議員の質問予定項目は次のとおりです。

- 鈴木やす子(6番目)
  - ・ 平和行政の推進
  - ・ ホームページの改善
  - ・ 介護予防体操
  - ・ 「ブックススタート」
- 福田明(8番目)
  - ・ 福田首相の辞任
  - ・ 雇用促進住宅
  - ・ 国民健康保険
  - ・ 燃油の高騰

## 池辺晋一郎の空を飛んでいますか

(第664回)

夏は花火、そして祭りのシーズン。だが、旧暦の夏は観月つまり月見の季節だった。

野口雨情に「二十三日」という詩がある。二十三夜さま 麦鍋や田舎で あぶくたつてる ところろ ところりち けえ

## 二十三日

眠くなってきた この詩に山田耕柞が作曲している。民謡調の、のんびり感が心地いい歌だ。僕はこの秋の茨城県の国民文化祭のために、雨情の詩による歌曲の合唱編曲を依頼されたが、この曲もそこに含まれている。童謡「青い目の人形」「七つの子」「証城寺の狸囃子」などで知られる詩人・野口雨情(1882~1945)は茨城の人で、僕と同郷。それゆえ僕はこれまで雨情に関する仕事をしてきた。雨情の生家も、お孫さんもよく知っている。

「月待」と言ったが、これは月が昇るころ、というのほのほしい夜中の2時くらいだが、そのころまで飲み、騒ぐ風習のこと。かつては日本のあちこちで行われていたらしいが、明治に入るとすた